

## 自給飼料の確保に向け牧草の収穫調製開始

当センターでは、綾部と碓高原牧場で自給飼料を確保するため今期の牧草の刈取・調製を開始しました。今年は、4月の低温、日照不足の影響で生育の遅れが心配されましたが、事前に品種の早晚性を組み合わせて作付けしていたことで、綾部では平年並みの280個（1個平均275kg）、碓高原牧場では昨年比1.2倍の259個（1個平均420kg）のロールサイレージを調製することができました。これら良質な自給飼料を給与し、健康で安心・安全な牛づくりを行うとともに、飼料自給率の向上に向けて、農家への普及と技術の継承に努めます。

なお、碓高原牧場の永年牧草の刈取りは秋までに3～4回行い、また、綾部ではこの後トウモロコシとスーダングラスを作付け、年間通じて家畜に給与できる粗飼料確保に努めます。



牧草の刈取り



ラッピング作業

畜産センター  
碓高原牧場